優勝を目指して懸命にボールを追う選手たち
（南松本―木曽北部）

64チームファイト

タイムス少年サッカー開幕

8強決まる

第十九回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ（市民タイムス、松本市サッカースポーツ少年団連合会主催、カガミグループ協賛）が十四日、松本市の松本平広域公園総合球技場・アルウィンで開幕した。この日は松本、塩尻両市内の五会場でトーナメントの1―3回戦56試合が行われ、南松本と菅野、塩尻広丘、清水、開智、筑摩野の中信勢6チームのほか、岡谷東部と昭和（長野市）が8強に駒を進めた。

大会には県内各地から小学校五年生以下で構成される64チームが参加した。六年生が抜けて新チームに移行した直後の試合となったが、選手たちは一つ一つのプレーに全力を傾け、ファイトを見せた。相手の裏をかく意外性のあるパスや力強いシュートには、コートサイドに陣取った保護者や指導者から歓声や拍手が送られていた。

試合に先立ち、アルウィンで開会式が行われた。大会長の新保力市民タイムス社長は「試合を通して多くのことを学んで、来年に向けて好スタートを切ってほしい」とあいさつした。大会委員長の乾靖市サッカースポーツ少年団連合会会長と、カガミグループの各務秀一社長も、入場行進を終えた選手に激励の言葉をかけた。その後、選手を代表して鎌田サッカースポーツ少年団の橋本一輝主将が「最後まで正々堂々と戦うことを誓います」と宣誓した。

大会二日目は二十一日で、アルウィンと、隣接の芝生グラウンドを会場にして準々決勝以上の7試合を行う。一般規格コートでの戦いとなり、決勝は午後一時にキックオフを迎える。

【関連記事14面に】